

「海事広報の戦略的強化に向けた勉強会」主な内容

1. 冒頭挨拶及びCtoSea プロジェクト説明



冒頭挨拶において、高橋海事局長より、海事広報に対する海事局の問題意識を参加者に共有すると共に、海事局総務課海洋教育・海事振興企画室より、2017年夏から海事局が推進する海事振興施策「CtoSea プロジェクト」について、その活動目的と5年間の歩みを紹介しました。

2. 優良事例の共有



優良事例として、地方運輸局から、中国運輸局、神戸運輸監理部、九州運輸局より、関係団体からは、(独)海技教育機構及び(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構より、SNS を積極的に活用した情報発信や組織横断的なプロジェクトチームの結成など、それぞれの先進的な取り組みについて発表が行われました。

3. 海事広報の課題の分析、今後に向けた提言

今回の事業を担当する(株)博報堂プロダクツより、SNS を活用した広報の強みや、従来の広報手法との使い分け方等に関する説明が行われると共に、関係者への事前ヒアリング(2021年11~12月に地方運輸局及び関係団体に対して実施)を通じて分析した、現在の海事広報が抱える課題の説明や、今後の活性化に向けた提言が行われました。

4. 海事広報の戦略的強化に向けた海事局の取組み



事前ヒアリングの結果及び上記3. による提言を踏まえ、海事局 宮武次長より、今後の海事広報の強化に向けた取り組み策について発表し、各組織からの積極的参加を呼びかけました。
具体的な内容は以下のとおりです。

①相談・連携しやすい体制づくり

月1オンラインランチ会の開催、Facebook コミュニティの設立

②ノウハウ・モチベーションの維持・横展開

継続的な海事広報研修の検討、海事広報アワードの開催

③誰もが気軽に参加出来る仕組み作り

「CtoSea プロジェクト特派員」で運用する SNS アカウントの創設

5. 参加者からのコメント

参加者からは、「普段知る機会のない他組織の取り組み事例を知り刺激を受けた」、「本勉強会をきっかけに自分達の海事広報の取り組みも強化を図りたい」などの前向きな発言がありました。